



障がい者千人雇用

地・食へと連携して雇用

市が推進する障がい者千人雇用に賛同する市内の事業所も増え、着実に雇用の機会が拡大しています。なかでも障がいがある人が雇用契約を結び賃金を受けられることができる就労継続支援A型事業所が次々とオープンし、就労者数増加の一助を担っています。

問い合わせ 福祉課障がい福祉係 (☎028269)



5月7日の「グリーンファーム」の開所式で、利用者を代表して藤村紘太郎さん(泉)が「おいしいと喜ばれる野菜作りを目指します」と宣誓しました(写真上) 井手にオープンしたのぞみの2号店「福祉の店ニコニコ堂」。ラスクやおはぎなどの製造販売をします(写真左)

▼とれた野菜は学校給食へ

野菜の収穫、栽培などの農業を行う就労継続支援A型事業所「グリーンファーム」が5月7日から本格稼働を始めました。

秦地内のビニールハウスや、富原、下原などの露地でミニトマトやカブ、アスパラガスなどを栽培。サンロード吉備路のサン直広場ええとこそうじゃのほか、「地・食べ」生産者としての認定を受けて、学校給食や農業公社が運営する直売所にも納入します。

グリーンファームの萩原義文理事長は、「安全・安心な野菜を学校給食へ届けたい。働くことが喜びにな

ってほしい」と話しました。

▼好調なA型事業所2号店出店

今年2月に開所したラスクの製造販売を行う就労継続支援A型事業所「のぞみ」(井手)の利用者が増加したことにより、その2号店として「福祉の店ニコニコ堂」(井手)が5月8日、オープンしました。

利用者は9人で、「のぞみ」がこれまで行っていたラスクやクッキーの製造・販売を引き継ぐほか、おはぎや駄菓子、備前焼などの販売も行います。なお「のぞみ」1号店は今後、電気関係のネジの取り付け作業を行っていきます。



総社市障がい者計画・第3期総社市障がい福祉計画。福祉課、市図書館、各支所・出張所などで閲覧できるほか、ホームページからも閲覧できます

障がいの計画完成

市では、障がいがある人の生活全般に関する施策を推進するための指針として「総社市障がい者計画・第3期総社市障がい福祉計画」を策定しました。

計画では、市民が「絆」で結ばれ、地域で支えあいながら生活していくなかで、障がい者も自立し地域社会に参画できることを目指しています。

また、「障がい者がいきいきと働くために」を重点課題としており、「障がい者千人雇用」へ向けての取り組みとして、就労と生活を支援する「障がい者千人雇用センター」の設立など、市が全国に発信する新しい障がい福祉行政のあり方についても示しています。



「地・食べ」が挑戦する

儲かる野菜づくり

そうじゃ地・食べ委員会では、学校給食における地産地消をはじめ、6次産業化法に基づく総合化事業計画の認定取得、農業公社の直売所開設など、農業を通じて地域を元気にするための取り組みを行ってきました。今年度も、「儲かる野菜づくりを目指す」、「野菜づくりの輪を広げる」、「地・食べでそうじゃを元気にする」という基本方針を柱に、各種事業を展開していきます。

問い合わせ 農林課 農林係 (☎028271)



4月24日、総合福祉センターで開かれた第5回そうじゃ「地・食べ」委員会

平成24年度目標数値

学校給食における市内産野菜の使用率 **35%**
地・食べ率

学校給食へ市内産の野菜の供給に取り組む生産者 **200人**
「地・食べ」生産者

学校給食への流通のほか、業者や直売も含んだ総額 **2300万円**
生産者部会の売り上げ

▼「儲かる野菜づくりを目指す」

これまで開拓してきた販路は、学校給食、飲食店・惣菜店、公社の直売所ですが、今年度からは地域の惣菜メーカーや医療・福祉施設などにも販路を開拓します。さらに、流通のプロと連携して、そうじゃの農産物ギフトセットを受注販売方式で販売する計画です。これにより売上高23000万円を目指します。

▼「野菜づくりの輪を広げる」

また、引き続き学校給食での総社市産農産物の利用率、地・食べ率の目標を35%として、戦略的な作付けを行っていきます。

図り、農業分野での障がい者の雇用機会を拡大していきます。さらに、地・食べ生産者を対象に講習会を開催。生産者が活力とやりがいをもって農業生産活動に取り組みむことのできる環境づくりを行い、ほ場の景色を稲穂から野菜に変えていきます。

▼「そうじゃの野菜で地域を元気に！」

地域が元気になる野菜を作るためには、徹底した品質管理・栽培管理による消費者の信頼が必要不可欠です。そのために、農業公社が主体となり、倉敷農業普及指導センターやJAなどと連携し、産地指導を徹底します。また、直売所で販売農産物をおいしく食べるための情報発信や、親子で農業に触れる機会を提供。消費者に直接働きかけるかたちで、地域を元気にしていくための取り組みも併せて行います。